

昭和三十六年度中里村施政方針の概況について
 中里村長 高橋 幸作

昭和三十五年度に於ける事業は一応終止符が打たれましたが、その間村民各位の絶大なる御協力に對して深甚なる謝意を表するものがあります。

擬新しく昭和三十六年度に於ける施政方針の一環を申述べて各位の御意見を御支援をお願い申し上げます。

まず当初予算編成に際しての抱負を申し上げますと、予算編成はあくまでも年度健全財政の運営を方針とし、地方財政再建促進特別措置法の規定による赤字運営団体に対する補助起債事業制限というような運営状態にならないよう、つまり、結果的に於て歳入欠陥を生じないよう配慮せねばならない為、数多くの希望や計画を全部折り込むには参らず基盤を確保するところを



発行所 民所館
 中里村公所
 印刷所 新報社
 十日

あるが、就中農業振興事業に於ては、最近の農業政策に現れた近代農業化への構造変更に伴う種々の情勢に少くも対応し得るよう特に中家畜、林業振興に力を加えた。尚今後の課題として段丘地に於ける畑地灌漑兼水田造成と国有林野の払下げによる放牧事業を計画している。土木関係事業中主要幹線である国道は近時交通量が増高の為、良に力を注いでいるが、当初には、その一部を予算化し事業の確定次第追加の予算措置を講ずる方針である。特に国道関係の橋梁については五ヶ年計画により永久橋に架替へすべく極力運動中である。

懸案の地方主要道、高田松之山一六日町線、所謂

昭和36年度中里村一般会計歳入歳出予算総括表 (単位円)

歳入	本年度予算額	前年度予算額	増減
村地公債	27,280,000	27,349,000	減 69,000
地方交付金	17,915,000	12,370,000	増 5,545,000
地方債	850,000	2,000	減 1,150,000
雑入	502,200	1,134,700	減 632,500
雑入	3,261,600	2,649,100	増 612,500
雑入	4,927,000	10,795,200	減 5,868,200
雑入	1,102,200	320,000	増 782,200
雑入	1,000,000	2,000	減 1,000,000
雑入	510,000	200,000	増 310,000
雑入	10,805,000	9,211,000	増 1,594,000
雑入	3,500,000	5,600,000	減 2,100,000
雑入	70,776,000	67,900,000	増 2,876,000

昭和36年度中里村一般会計歳入歳出予算総括表 (単位円)

歳出	本年度予算額	前年度予算額	増減
職員給与	971,500	898,500	増 73,000
職員旅費	13,124,700	9,755,300	増 3,369,400
職員手当	1,938,500	3,916,900	減 1,978,400
職員退職金	5,393,700	3,370,300	増 2,023,400
職員福利	19,386,000	12,192,900	増 7,193,100
職員研修	2,794,600	721,000	増 2,073,600
職員健康	789,500	554,500	増 235,000
職員生活	19,044,000	3,814,700	増 15,229,300
職員調査	1,057,500	3,014,700	減 1,957,200
職員教育	90,900	163,700	減 73,800
職員福利	177,300	144,200	増 33,100
職員健康	2,464,000	1,802,000	増 662,000
職員生活	2,543,800	2,884,200	減 340,400
職員教育	1,000,000	1,000,000	増 0
職員福利	70,776,000	67,900,000	増 2,876,000

十二線の開きについては、国の道路整備五ヶ年計画に編入され、これが実現の曙光が見出されております。教育関係については田沢中学校増設案が大きな問題であり、財政事情からしては、暫く四教室だけにして已むなく四教室だけにしては、通常の行政費については、努めて削減してありますが、最少の経費にて最大の効力を得るよう努力する考えであります。

昭和36年度中里村国民健康保険特別会計予算総括表

(事業勘定)

歳入	本年度予算額	前年度予算額	歳出	本年度予算額	前年度予算額
1 国民健康保険料	5,874,000	5,873,000	1 医療給付	1,362,060	1,109,820
2 国民健康保険料	301,000	455,000	2 医療給付	9,472,800	8,128,000
3 国民健康保険料	6,100	3,200	3 医療給付	947,100	717,720
4 国民健康保険料	7,000	7,000	4 医療給付	103,300	0
5 国民健康保険料	5,137,900	3,996,400	5 医療給付	51,000	51,000
6 国民健康保険料	100	100	6 医療給付	8,400	5,000
7 国民健康保険料	1,250,000	200,000	7 医療給付	874,700	383,100
8 国民健康保険料	408,500	25,000	8 医療給付	200,000	200,000
9 国民健康保険料	35,200	34,940			
歳入合計	13,019,900	10,594,640	歳出合計	13,019,900	10,594,640

(施設勘定)

歳入	本年度予算額	前年度予算額	歳出	本年度予算額	前年度予算額
1 診療収入	1,604,000	1,404,000	1 施設費	2,938,000	2,757,700
2 診療収入	749,000	549,000	2 施設費	10,000	10,000
3 診療収入	3,000	3,000	3 施設費	72,000	72,000
4 診療収入	600,000	650,000	4 施設費	31,000	26,000
5 診療収入	1,000	1,000	5 施設費	26,000	11,300
6 診療収入	120,000	170,000			
歳入合計	3,077,000	2,877,000	歳出合計	3,077,000	2,877,000

全面給付実施 7月から医療費は値上げ

四月から村の国民健康保険とほかの職場保険の両方に加入していた、いわゆる二重加入は認められなくなりました。したがって村の国民健康保険者は世帯人数とともに大巾に減少しますが、今迄負担を制限していましたが、入院した時の食事代、寝具代、歯の補綴(有床義歯、架工義歯、金属冠歯、冠継、補綴、口蓋補綴、顎骨補綴など)についても負担することになりまし。

又育児手当金も支給することになりました。近頃年と共に皆さんの医者にかかる回数が多くなり、よい医療が行われます関係で負担する費用(皆さんに代つて国保が医療機関に支払うもの)も七月からの医療費の値上げも加えてかきみ三十六年度はその額が老千万円近く見込まれます。しかしこれをみんな税で賄うという事は容易でないことですので、村の一般会計から多額の金を入れてもらったり未納税等の徴収をしてこれに当てることにし、ぎりぎり考え一戸当り平均

歯を大切にしよう

◇乳歯とムシ歯◇
 歯科医 藤田 博

最近歯の疾病により悩む人が非常に多くなつた。特に子供の歯で、その殆んどがムシ歯になつてゐる。そこで歯科医師である藤田先生にその対策を色々聞いてみた。以下藤田先生の文を掲載しよう。

①物を噛む機器としてだけでなく発音機能に對し援助してゐる。この障害は、消化不良を起し易く、その為小児の發育は甚だしく影響を受ける。

②物を噛む時の力を刺激要素として、噛むことにより歯の骨、顎骨の發育に刺激を与え、その生成を援助し

を卒直に御理解いただき御協力を願います。

(注)
 ①二重加入者とは職場保険に入つてゐる人の扶養家族で村の国民健康保険に入つてゐる人達を言います。この人達は今まで直接お金をお払いする必要がありませんでしたが四月から半額を窓口にお支払いしなければなりません。いまの保険証では四月新しいものに代ります。古くなつたものは返していただくこととなります。

(保)
 ③噛む時の力によつて顎骨の發育、顔にある諸筋肉の發育を助け頭部の發育にも影響して、脳の發育にも大なる影響を与える。

④乳歯が早く抜けてしまふことは、以上の發育過程に悪影響を与えるだけでなく、永久歯(生え変わる大人歯)の生成に障害を与え、歯列も悪くなる。

⑤六才臼歯(六才臼歯生える永久歯)は何故大切にしなければならぬか
 小児の口腔衛生中、最も重要なことは、六才臼歯の保護に於いてである。

小児や未だに口腔衛生について自覚の無い学童期に於いてこの歯の疾患に罹り然も保護者に於いてすらもこの疾患に何等の関心も持たずにいる場合すらある。

一本の歯と雖も不必要なものも発生しない訳である。

特に六才臼歯は種々重要な要素をもつてゐると云われねばならぬ。この為この歯は他の歯に比較して、それを保護することも又一培と必要である。次に六才臼歯の重要性をあげてみよう。

①永久歯の中、最も早く出て来る、しかも生え変わる事が無い、これは乳歯の後方に早期に出て来るので、往々にして乳歯と間違え、又再び出て来るものの如く考へられ勝ちである。

②次々に出て来る永久歯の歯列の基準となり、噛むことの中心となる。故にこれが「ムシ歯」による早期喪失は、歯の交換期の基準を失ひ、後から出て来る永久歯の歯列の異常を来たす。更に顎骨の發育不全を来たし、その結果顔面、頭蓋骨の發育の障害を来たし最後には脳の發育にも影響を及ぼす事となり、又、胃腸障害の原因となる。

③小児發育期に於ける噛む能力は殆んどこの六才臼歯になるものである。この時期に於ける左右の六才臼歯の障害は約五〇%の噛む力を失ふことであつて、小児の全体的發育に悪影響を及ぼすことになる。

④最も早期にこの中に出る為、ムシ歯にかゝる危険が他の歯よりも甚だ多い。

⑤予防と保護について
 六才臼歯の出る時期には少なくとも年に二回以上の定期的診査を受けることが望ましい。

⑥ムシ歯の発生部位は殆んど大多数が歯と歯を噛み合わせる部分(臼歯の部分)である関係上、殊にこの部

分の清掃に注意すること。早期発見と早期治療を行うことが必要である。早期治療の場合は通院回数も二回で済む事が多い。

⑦乳歯のムシ歯の三大原因
 (1)乳歯の表面には凸凹がありここに食物の残りたまり易い。この為ムシ歯が発生し易い。

(2)乳幼児食物は、母乳、牛乳、果汁等の様に液体食物を多くする関係上、噛むことによる自然的清掃が出来ないので飲食物の残りたまり易くなる。その上、母乳、牛乳、幼児の食べる菓子も粘着性で最も酸酵し易い為、一層ムシ歯になり易い訳である。

(3)幼児は又睡眠時間が長いという事が、第三の原因と考えられる。

長い睡眠時間中には口の運動と「ツバキ」の分泌が減退され、口の中の自然的清掃が行われぬ。又睡眠時間中、全く口の運動が停止する状態に於いては、最も口の中のバイ菌の増殖を助けると云うことが、ムシ歯を作り易い原因の一つとされている。

以上ムシ歯の原因と乳歯等の重要性を書きましたので、今度はムシ歯の予防について書いてみます。

雑感

青年会のこと

高橋信雄

青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの...

はならないと思ひます... 青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの...

関係、内容の問題、という... 青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの...

雪に恵まれて、各地のスキー... 青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの...



技となでいわれているスキー... 青年会活動がどうのこうの... 青年会活動がどうのこうの...

群飼育によい

デンマーク式豚舎

中部地区農業改良普及所

曲り角に立つ農業と云われ... 群飼育によい... デンマーク式豚舎...

これは豚房の清潔化と... 群飼育によい... デンマーク式豚舎...

ワラは豚房のみ敷く... 群飼育によい... デンマーク式豚舎...

最近婦人学級や何々会と... 群飼育によい... デンマーク式豚舎...

うというようなこともあり... 群飼育によい... デンマーク式豚舎...

鷹羽滑降スキー大会

盛況だった

今冬は近年に稀な豊富な雪に恵まれて、各地のスキー場はスキー客で賑わった...